

工事番号 409

開札日 H31.3.13

寄せられた質問と回答

工事名 サロマ湖漁港 航路護岸その他工事

質問月日	質問	回答
H31.2.26	質問1：仮設工 鋼管矢板の詳細図を明示していただけないでしょうか。	回答1：鋼管矢板の詳細につきましては、特記仕様書に明記いたしました。新たに登録する特記仕様書 工事仕様 5. その他 2)仮設鋼管矢板・鋼矢板打設 マル5をご確認願います。
H31.2.27	質問1：支給品の吊鉄筋（52本）の間接費は、支給品費等一般材料費として共通仮設費と現場管理費の対象という考えでよろしいでしょうか。その場合、吊鉄筋単価は公表になりますか。 質問2：見積参考資料P7 25鉄筋加工組立 SD345、D16で条件入力欄には「SD345、D13」とありますが「SD345、D16」でよろしいでしょうか。 質問3：見積参考資料P22 82構造物とりこわし（無筋）の条件入力値欄に「鉄筋構造物」とありますが「無筋構造物」でよろしいでしょうか。 質問4：見積参考資料P45 163えい航費（作業船）は、引船の帰港無しでよろしいでしょうか。 質問5：見積参考資料P50 167分解組立運搬は、輸送費無しの分解のみでよろしいでしょうか。	回答1：吊鉄筋（52本）は、別件工事で製作したものを発注者から本工事に対して支給を行います。 港湾請負工事積算基準P2-1-3に記載の別途製作した材料と判断しており、吊鉄筋は間接工事費の対象としていません。このため、吊鉄筋単価の公表は行いません。 回答2：ご指摘の通り、SD345、D16が正しいものとなります。新たに登録する見積参考資料をご確認下さい。 回答3：ご指摘の通り、無筋構造物が正しいものとなります。新たに登録する見積参考資料をご確認下さい。 回答4：引船の帰港無しで積算しております。新たに登録する見積参考資料に記載しましたので、ご確認願います。なお、代価番号が変更となっておりますので、ご注意願います。 回答5：分解費用と運搬費が含まれております。なお、代価番号が変更となっておりますので、ご注意願います。

工事番号 409

開札日 H31.3.13

寄せられた質問と回答

工事名 サロマ湖漁港 航路護岸その他工事

質問月日	質問	回答
H31.3.1	<p>工事内容について</p> <p>1. 上部コンクリートでは、その形状からひび割れの発生が予想されます。ひび割れについて、港関係団体連絡会でやっている要望の回答を見ますと、「コンクリート構造物において、施工後に生じるひび割れについては、当局においても重要な課題と考えているところ。ひび割れが想定されるような現場においては、工事円滑化会議を活用して工事着手前に受発注者で協議していただきますようお願いいたします。」と記載されていますので、円滑化会議等でひび割れ対策が必要と認識された場合には、設計変更の対象となりますでしょうか？</p> <p>2. 設計書 38, 39, 43, 46, 49, 52, 55, 58, 61, 69 番等の土砂等運搬では、第2湖口の橋やワッカ原生花園内を走行します。この道路は対面通行できる幅員ではないので、通常よりも運搬効率が低下します。施工見積もしくは実態に応じた設計変更となりますでしょうか。</p> <p>3. 根固めブロック・袋詰め根固めの製作は第1湖口地区、本施工は第2湖口地区となっています。施工箇所の点在に該当しないでしょうか？</p> <p>4. 設計書94番のブロック撤去では、漂砂によって埋没していることが懸念されます。その場合、作業効率が著しく低下するので、施工見積もしくは実態に応じた設計変更となりますでしょうか。</p>	<p>1. ひび割れの予測結果や過年度工事の施工実績等により、ひび割れ対策が必要と判断される場合については、設計変更の協議の対象と考えます。</p> <p>2. 当初設計は、施工時の工夫によりダンプトラックの台数を適切に設定することで片側交通による退避待ちが発生しないものと考えております。なお、他工事との輻輳により運搬効率が著しく低下する場合は、実態調査を行った上で、設計変更の協議の対象と考えます。</p> <p>3. 施工箇所が同一漁港及び同一自治体であるとともに、第2湖口地区における主たる工事期間に対し、第1湖口地区における工事期間が短期間であることを鑑み、施工箇所の点在とはしていません。</p> <p>4. 漂砂によりブロックが埋没している場合は、標準的な撤去が出来ないことから、監督職員と協議の上、設計変更の協議の対象と考えます。</p>

工事番号 409

開札日 H31.3.13

寄せられた質問と回答

工事名 サロマ湖漁港 航路護岸その他工事

質問月日	質問	回答
H31.3.4	質問1：見積参考資料P29 96、97 鋼管矢板材料には鋼管矢板継手先端沓（半閉塞型）は計上されていますか。	回答1：特記仕様書 工事仕様 第2条 5. その他 2)に示す材料を積算計上しており、鋼管矢板継手先端沓（半閉塞型）につきましては、当初設計において計上しておりません。